

令和4年度教育活動についての保護者アンケートの結果と考察

1 アンケート結果

[回答率 67.5%]

「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の割合

N O	項 目	令和 4年度	令和 3年度	前年と の比較
1	学校は、授業や学校行事を通して教育目標の達成に向け指導している	91.1	86.9	+4.2
2	学校は、小中一貫教育校の良さを生かした教育活動や学校行事を工夫している	89.9	82.2	+7.7
3	学校は、児童生徒の学力向上に向けて授業の工夫に努めている	86.1	81.9	+4.2
4	学校は、いじめのない学校、学級、集団づくりに取り組むよう努めている	82.3	79.4	+2.9
5	学校は、交通安全、防災や防犯等の安全指導を行っている	89.9	89.7	+0.2
6	学校は、施設・設備を整備し、学習しやすい教育環境づくりに努めている	84.8	83.1	+1.7
7	学校は、授業参観や学校行事などを適切に設定し、学校公開に努めている	89.9	85.0	+4.9
8	学校は、学校だより、学年・学級通信、保健・食育だよりやホームページなどで学校の様子や取組を保護者・地域に発信している	96.2	92.5	+3.7
9	学校は、PTAや地域と協力・連携して教育活動を行っている	79.7	80.4	-0.7
10	教職員は、児童生徒や保護者の相談・質問に丁寧に対応している	89.9	88.7	+1.2
11	我が子は、楽しく学校に通っている	89.9	89.8	+0.1
12	我が子は、家庭学習の習慣が身に付いている	72.2	73.9	-1.7
13	我が子は、家庭で短時間でも読書をしている	36.7	39.7	-3.0
14	我が子は、地域や家庭であいさつができています	87.3	84.9	+2.4
15	家庭で、我が子のよいところや将来の夢などの話をしている	88.6	86.0	+2.6
16	家庭で、三和ガードプラン6を守らせている	60.8	43.9	+16.9

【学校の教育に対してのご意見やご感想】※概要

- 部活動の種類を考えてほしい。陸上や部活動の大会に向けて継続した専門的な指導をしてほしい。
- 様々な体験がよい刺激になっている。
- 友だちと遊びの約束をする場合の取り決めをある程度教育してほしい。
- スクリレについて、誰への連絡なのか分かりにくい。緊急性の見分けがつきにくい。
- 授業参観で、保護者が見学したい授業を自由に参観できればよい。(プログラミング、外国語等)

......*...*...*...*...*...*...*...*...*...*...*...*

2 考察と今後の取組について

全体的に多くの項目で肯定的な評価をいただきました。また、前年度との比較では、16項目中12項目で肯定的な評価が増えました。その理由として、新型コロナウイルス感染状況が比較的落ち着いていたことで、1・2学期の教育活動（授業や行事）が計画通り実施できたことや、保護者や地域の人々に公開する機会が増えたことであると思われます。

今後も、教育活動を公開する機会を増やし、取組を理解していただくとともにアンケートなどで率直なご意見をいただきながら教育活動の工夫改善に努めていきます。

【肯定的な評価が高かった項目・伸びた項目】

「家庭で、三和ガードプランを守らせている」 +16.9

「学校は、小中一貫教育校の良さを生かした教育活動や学校行事を工夫している」 +7.7

「学校は、授業参観や学校行事などを適切に設定し、学校公開に努めている」 +4.9

体育祭や文化祭などの学校行事では、小中の児童生徒が協力して活動している姿、中学生が小学生に優しく接している姿、温かい人間関係の中で育ち合っている姿を保護者や地域の方々に直接見ていただくことができました。児童生徒の 9 年間の発達段階や成長していく様子を見ていただくことで、小中一貫教育校のよさを感じていただけたのではないかと思います。

今後も、小中連携、学年期の活動を工夫しながらリーダー性の育成や集団づくりに努め、温かいふれあいの中で学び合い育ち合う学校づくりに組んでいきます。

【肯定的な評価が低かった項目・今後さらに伸ばしたい項目】

「我が子は、家庭で短時間でも読書をしている」 36.7%

今年度も低い結果でした。さらに昨年度より 3 ポイント低い結果となりました。読書をしているかどうかについては、学年や小中の傾向は見られず、個人によるものと捉えられます。

学校図書館の本を利用しやすく紹介されていますが、積極的に活用されていないのが現状です。平日の帰宅後はなかなかゆっくりとした時間がとれないことから、休日や長期休業を利用して読書をする機会を増やしていくことを勧めていきます。

「三和ガードプラン 6 を守らせている」 60.8%

昨年度より 16.9 ポイントアップしましたが、子どもたちにとってタブレットやスマホが身近になった今、大人も子どももルールをより意識していく必要があると考えます。

リズムやけじめのある生活を身に付けること、ネットトラブルに遭わないことの両面から、ルールの大切さを理解させていくことが大切であると思います。学校と家庭が連携して取り組んでいく必要があります。

3 ご意見やご感想についての回答 ※数々の建設的なご意見をいただき、ありがとうございました。

○部活動について

令和 5 年度より部活動数を整理して活動します。全校体制で出場する陸上大会や駅伝大会については、できるだけ練習を継続して行い、方法を工夫しながら意欲や技術を伸ばす指導に努めていきます。

○様々な体験について

次年度も、子どもたちが楽しく意欲を持って学び、心に響き、家庭でも話題になるような体験学習を計画していきます。

○友だちと遊びの約束をする場合の取り決めの指導について

遊びの約束をする場合の取り決めについては、家の人と相談することを基本として指導していきます。遊びに行くときのきまり（行き先、帰る時刻等を家の人に伝える、大人の人がない家へ入らないなど）の指導は、小学校において、連休や長期休業前（夏休み等）に行っています。今後

も引き続き指導します。特に気になる様子があればご相談いただければありがたいです。

○スクリレ（保護者連絡アプリ）での連絡について

できるだけ分かりやすくなるように宛名を記すなど工夫して発信するよう努めていきます。

○授業参観について

期間の設定や指導時期のタイミングなど、自由に授業参観をしていただくのは難しいところがありますが、できるだけいろいろな内容の授業を見ていただけるよう努めます。